

新型コロナウイルス感染症対策 マスク及び

アルコール消毒液の寄贈

5月14日（木）に、昨年11月、吉賀町と地域活性化包括連携協定を締結した株式会社地方創生テクノロジージャボの呼びかけにより、株式会社 studio Sをはじめとする東京に事業所を有する6社から、マスク4,000枚の寄贈がありました。

また、5月21日（木）には、吉賀町六日市の澄川酒店からマスク500枚、5月26日（火）にも、吉賀町立河内の村上智孝さんから布マスク500枚とアルコール消毒液4.5ℓの寄贈がありました。いずれも、新型コロナウイルス感染症対策に活用してほしいと寄贈されました。

寄贈いただいたマスクとアルコール消毒液は、六日市病院をはじめ、吉賀町社会福祉協議会など緊急性が高い町内の医療機関、福祉施設、保育施設等に配布しました。



吉賀高校へ配布



六日市病院へ配布

ご寄付いただいた皆様 誠にありがとうございました。

- (株) studio S様 (東京都港区) マスク 1,000 枚
 - (株) フロンティアコンサルティング様 (東京都中央区) マスク 500 枚
 - 坂口公認会計士事務所様 (東京都新宿区) マスク 500 枚
 - (株) インボックス様 (東京都千代田区) マスク 500 枚
 - ライズアクロスグループ様 (東京都港区) マスク 500 枚
 - 非公表 マスク 1,000 枚
 - 澄川酒店様 (吉賀町六日市) マスク 500 枚
 - 村上智孝様 (吉賀町立河内) 布マスク 500 枚
- アルコール消毒液 4.5 リットル

吉賀 吉高 支援室だよ!

今年度も「吉高アントレ」 はじまりました!

4月、満開の桜と生徒たちの元気な声と共に始まった新年度…とはいかず、新型コロナウイルスの影響で、ほとんど休校から始まった新年度。休校期間中に一人一人が意識した生活を送ったことで、5月中旬から感染予防策を取りながらの登校が吉賀高校でも始まりました。登校再開に伴い、吉賀高校の総合的な探究の時間「アントレプレナーシップ教育（通称…アントレ）」も始まりました。すでにご存じの方もおられると思いますが、アントレの時間は、日常に目を向け自ら課題を発見し、周りと協働しながら解決策を考える中で、「なぜ自分はこの課題に取り組みたいと感じて、自分はどういう課題に関わりたいと考えるのか」という自己の在り方も考える時間です。1年生にとっては初めてのアントレ、2年生にとっては2年目のアントレ。生徒一人一人がどのようなテーマを見つけ、どのように取り組んでいくのか楽しみです。例年

とは少し違う状況で始まり、現在も地域の方々と交流できる場がいつ作れるのかという目は立っています。しかし、生徒たちが日常を過ごしている吉賀町で、未来を創る活動をする準備は校内で始まっています。吉賀町で過ごしてきた時間や経験は生徒によって様々で、吉賀町について知っていることも様々です。そのため、今年度の活動が活発になり、フィールドワークができるようになった際には、地域の皆さまにご協力いただく場面も数多く出てくると思います。その際には、吉賀町の実態をリアルに体感している町民の皆さまの声を生徒に届けていただき、生徒と一緒にアントレの時間を作っていただくと幸いです。今年度も、吉高生をよろしく願っています。



アントレの様子

